

本草圖譜 山草部 三

農商務省  
圖書  
第 二 號  
共 册

大政官文庫  
和書門  
一〇三七  
函架  
六册

內閣文庫  
和書類  
一〇三七  
函架  
二六三

內閣文庫	番號和	11037
	冊數	6 ( 3 )
	函號	196 193

第七二二  
六册

本草





本草圖譜卷之七目錄

山草類

一之上

黃連

かぐまゆり

三葉之物

一種

大の芥葉之物

一種

細葉の物

一種

蝦夷之産

一種

大葉かぐまゆり黄連

一種

大葉之物

一種

長葉之物

一種

芥葉之物

一種

豆州之産

一種

かぐまゆり黄連

一種

五加葉黄連

本草圖譜

卷之七目錄

一 確園胡藟



本草圖譜 卷之二十 目錄 一 漢 國 良 藥

一種 屋久嶋之産 黄芩 二 八

一種 白花 柴胡 三 九

一種 白花の物 木曾の産 十 十一

前胡 一種 防風 十一 十二

一種 加日前胡 漢種 十二 十四

一種 伊吹防風 漢種 十三 十六

一種 獨活 漢種 十四 十六

羌活 一種 高尾羌活 十五 十八

土當歸 一種 升麻 十六 十八

一種 大葉之物 二十一 廿一

一種 白鮮 細葉之物 廿二 廿一

一種 信州之産 廿三 廿二

一種 白花の物 廿四 廿三

一種 苦參 漢種 廿五 廿六

延胡索 一種 漢種 廿六 廿七

一種 竹葉之物 廿七 廿七

一種 廿八 貝母 廿八

一種 廿八 貝母 廿八

一種 廿八 貝母 廿八

本草圖譜 卷之二十 目錄 二 漢 國 良 藥



本草圖譜 卷之廿四 二 淳園閣藏

一種 水仙 <small>まあせん</small>	一種 石蒜 <small>せきえん</small>	一種 一種	一種 山慈姑 <small>えんじこ</small>	一種 一種	一種 一種	一種 一種	一種 一種
尾州之産	ひがんむす	白花之物	あま	蝦夷之産	かこり	きりゆのかこり	江州之産
廿五	廿四	廿四	廿九	廿一	廿二	廿三	廿一
一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種	一種
八重之物	蠻産	蠻産	うむり	八重之物	八重之物	蠻産	蠻産
廿一	廿二	廿三	三十	廿一	廿二	廿三	廿一

本草圖譜卷之七

東都

岩崎常正著

山草類 二之上 六十二種

本草圖譜 卷之七 六十二種

本草圖譜 卷之七 一 葎園閣藏



黄連コウレン

からまろさ

本草  
和名

加州より産するを菊葉きくのたに似て四時あつちよ開ひらく五  
 瓣びらありて内小又細瓣おほきとまろあり黄葉きいろのざいなり白花のゆゑ多し後のち莢えいを  
 結むすぶ形稜斗菜かちどまきの实こに似て車輪ぐるまのの如ごとく花後はなのち新葉あらたを生ひけ  
 根黄色ねき母根ははねあり毛鬚ひげ多し味あじ甚苦あつく上品じやうひんなり



本草圖譜

卷之七

黄連

二

灌園樹裁



凡黄連の類ハ  
 四時開花三月  
 花と開く五瓣  
 ありて内又細  
 辨あり黄葉之  
 白花の物多ク  
 花後葉を結ぶ  
 形糝斗菜の実  
 似て車輪の如  
 花後新葉を生ず  
 根黄色母根あり  
 鬚多く味苦



一種 大葉の物  
 薩州よりつるといふ  
 菊葉に似て粗大なり  
 花実ハ菊葉に同ト  
 根又上品なり

一種 三葉の物

此ハ菊葉の三葉  
 なるゆゑ根もまろ  
 大なり





一種 長葉の物

若州あまぐさに産す川芎せききう  
葉に似にう



一種 大の芥葉さいようの物

芥葉さいように似て長  
大なる莖長くさし





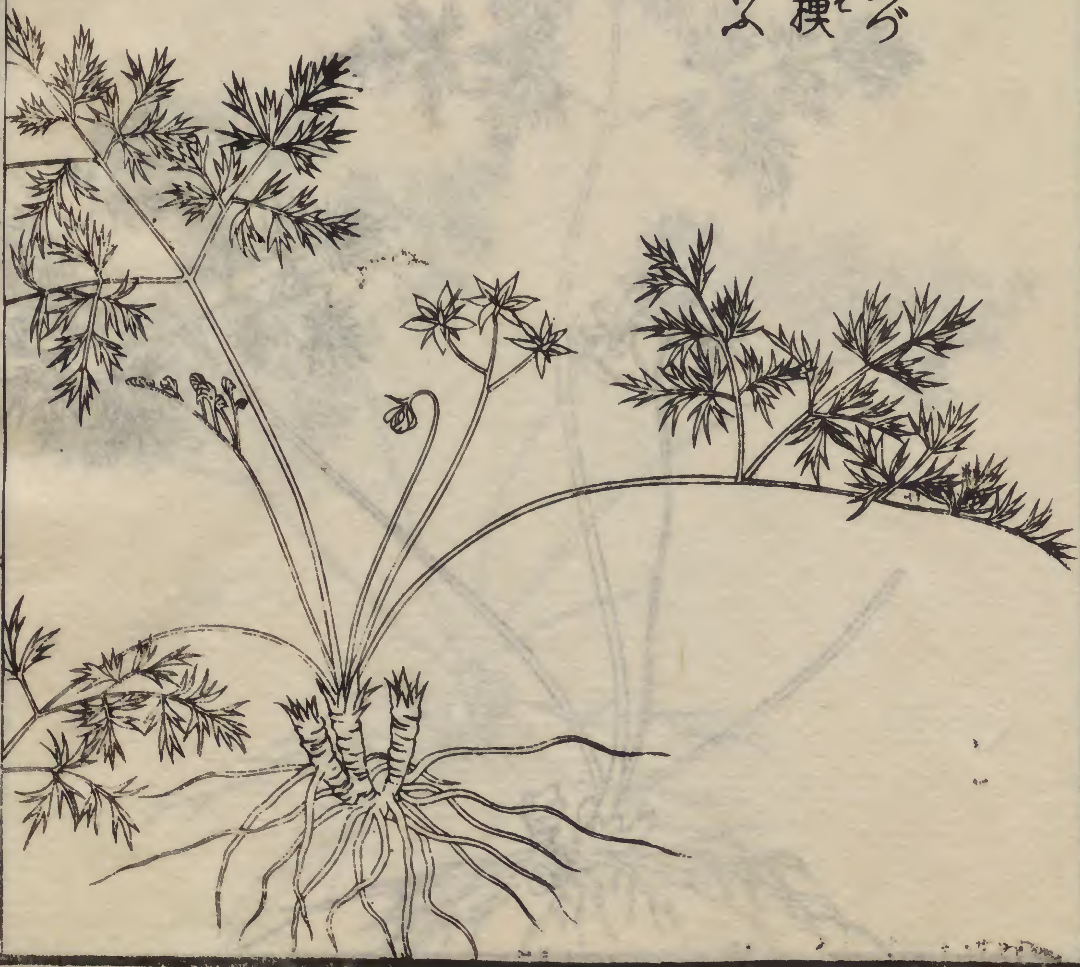
一種 芥葉の物

丹波の龜山野州日光山及山城の貴船等より出づ芥葉に似て細く



一種 細葉の物

和州豆州甲州等より出づ蝦夷の産もの尤細く蕨の説小葉如小雉尾草といふ物あり属せり





一種 豆<sup>づ</sup>芴<sup>の</sup>産



一種 蝦<sup>あ</sup>夷<sup>の</sup>産





一種 かんこ黄連 野州

野州日光及甲州信州等よりあり三葉  
相合して首葉の如く黄綠色根細  
長蔓となり花一莖一花五瓣白色梅  
花の如し

一種 大葉 黄連



一種 五加葉黄連 和俗

屋久嶋の産

又錢黄連ともいふ京の比叡山  
甲州金峯山等あり葉の形  
五加の如く中より小なり根蔓  
少して土中を延び根連珠となり  
又一種根蔓ありて特生する  
ものあり葉も大なり厚し  
屋久嶋小産す根の形菊葉  
の物に似たり





黄芩

こがねやまぎ

種朝鮮より  
 濃多く作る  
 葉八十層葉  
 小似て狭く對  
 生一高三二  
 尺花八鉢筒小  
 如く未唇乃  
 後角さ宵突  
 を根中より細  
 黒子あり一種  
 白化のものあり  
 根大さの二  
 尺許皮黄褐  
 色肉黄色味  
 苦

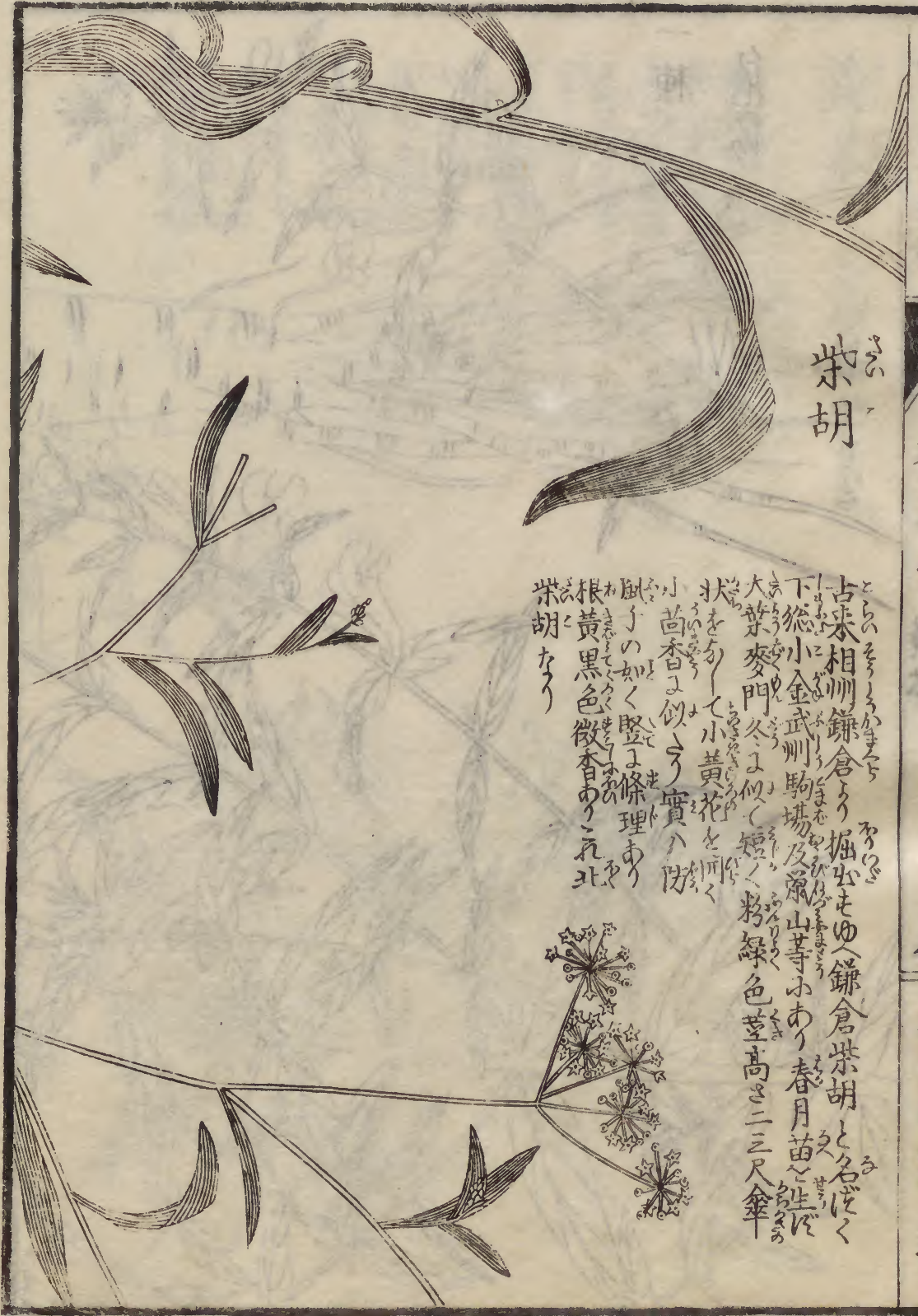


一種  
白花の物

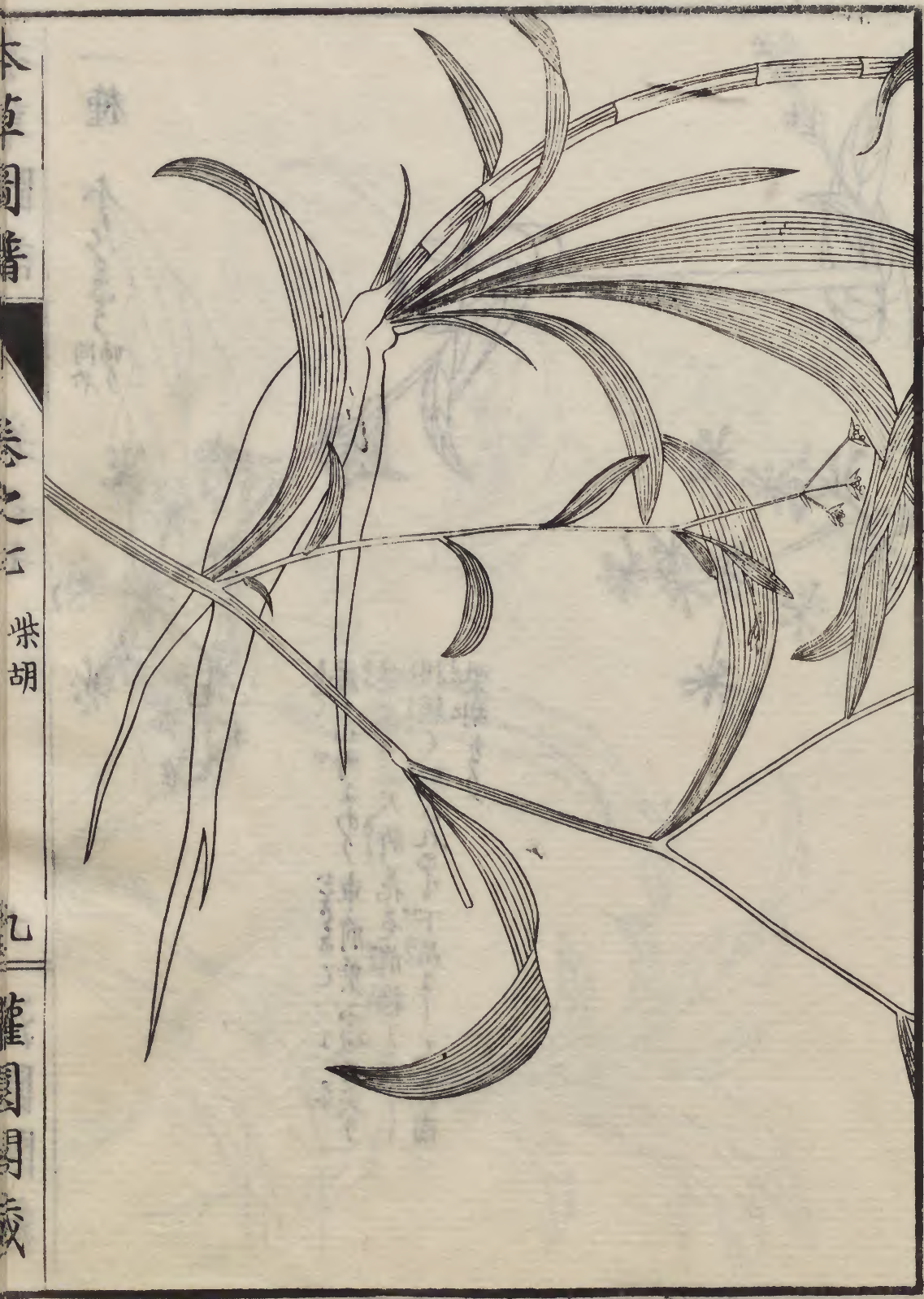




柴胡



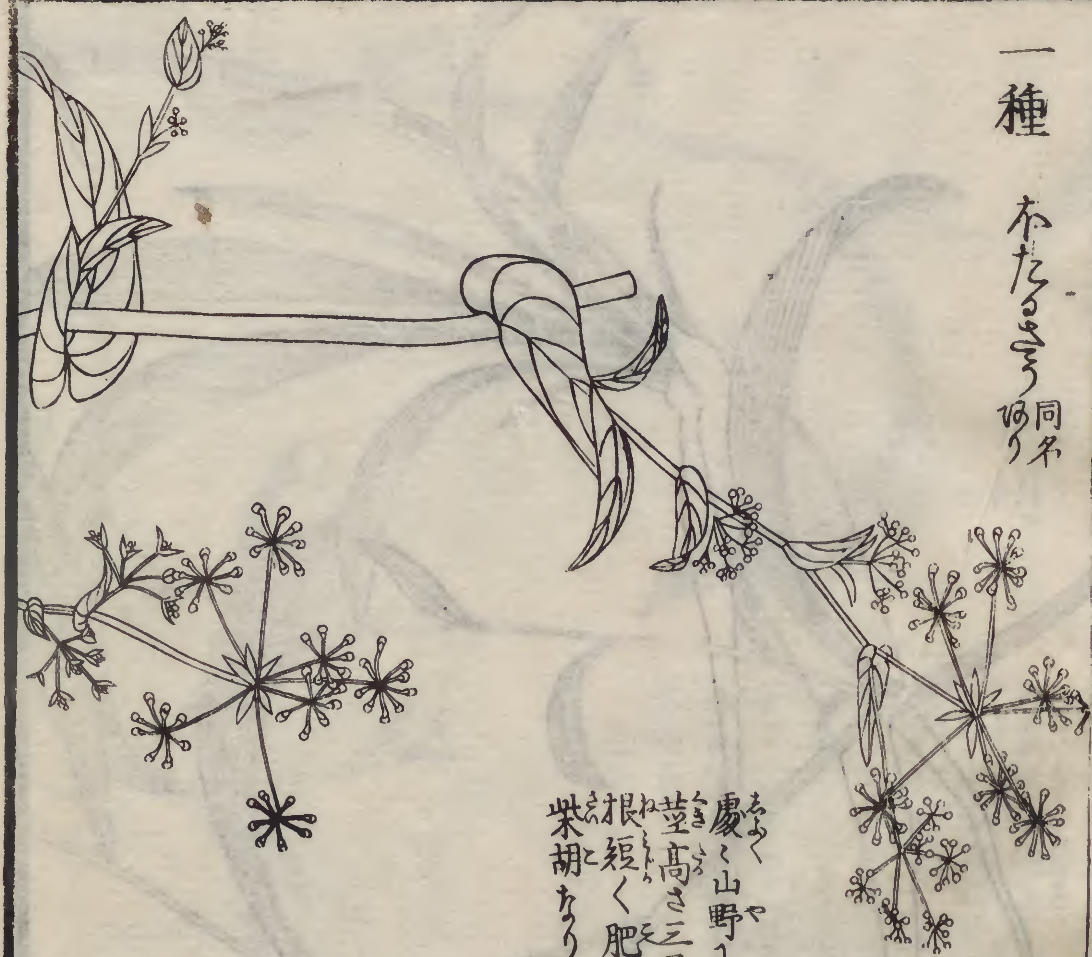
古采相洲録倉り掘出せゆ録倉柴胡と名づく  
 下然小金武州駒場及源山等小あり春月苗能生  
 大葉麥門冬に似く短く粉綠色莖高さ二三尺傘  
 状を帯て小黄花を所く  
 小苗香に似く實ハ防  
 鼠の如く堅く條理あり  
 根黄黑色微香ありこれ北  
 柴胡なり



柴胡



一種 木たるさう 同不 何り



處山野あり 車前葉に似て尖り  
茎高さ三尺許 花を前種と同く  
根短く肥えさす 下品にしてこれ南  
柴胡なり

柴胡





一種

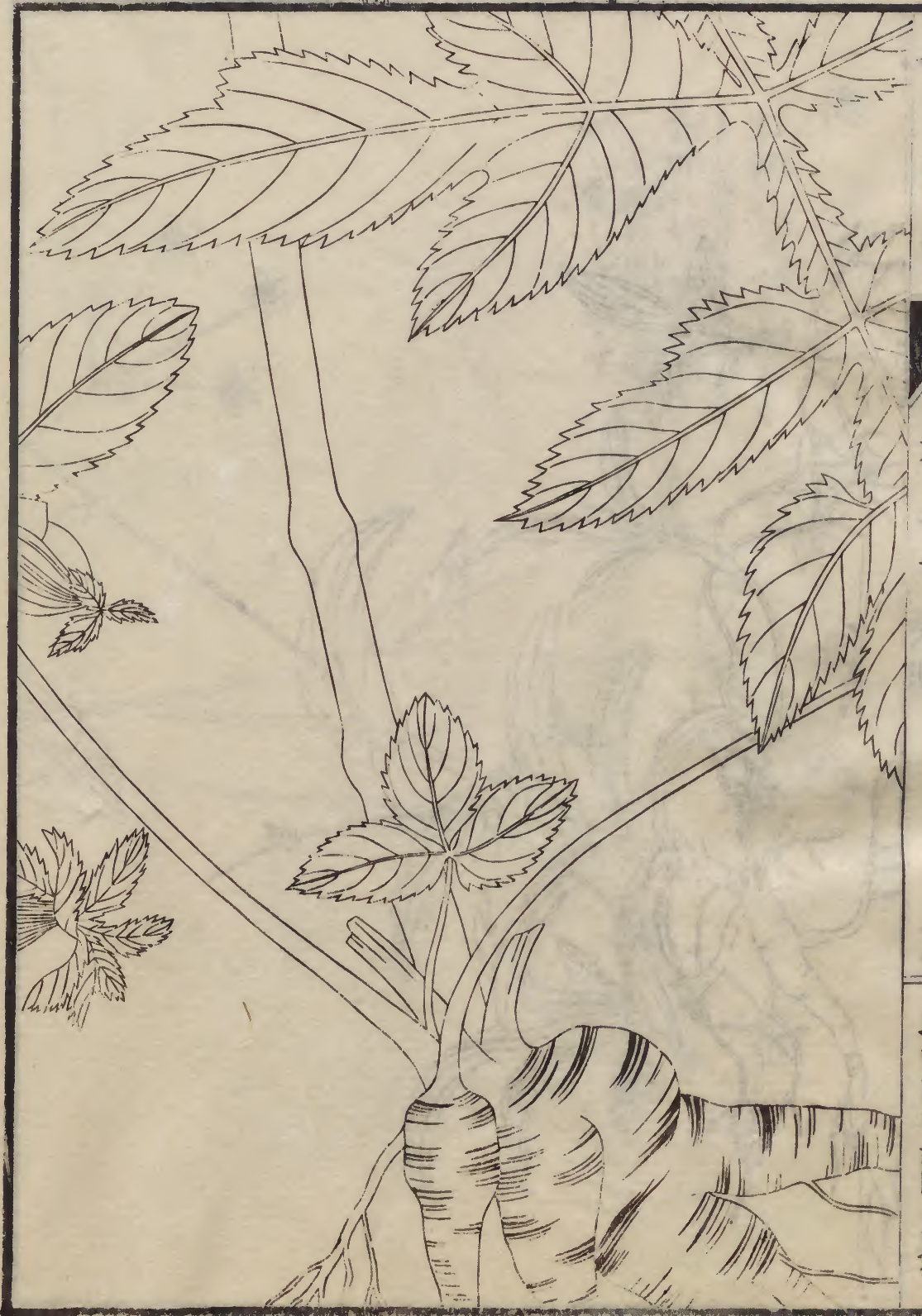
木曾の白山は産する  
四月五月花あり  
紫胡の如く黄色き  
一尺二過根細く蔓の  
如く處々苗と生ず



柴胡







前胡  
うだお 和名  
本名



白花の物

慶之山中より初生三葉  
長きハ獨活葉の如く小なる  
葉紫なるハ三四尺花の形  
小似て大ハ紫黒花と稱く  
実大麥の如く條理あり



一種

かじ前胡セト和州



和州ワシウ産ウツ葉エフ八ハチ當トウ歸キ不フ似ニてシ緑キナ色ニ葉ハ二ニ三サ尺シツ  
花ハナ傘カサ状シヤウをシてシ白シロをシ根ネ細ホソ長ナガしシてシ又マタ大オホくシ黄キ白シロをシ  
理リ黄キ白シロ似ニ人ニ参シ而シ細ホソ短ミダしシ  
以シテ是レをシ



本草綱目

卷之七

前胡

權園閣藏



防風



唐種防風なり享保年中  
波多葉ハ白頭翁ニ似テ毛  
粉綠色莖ニ二三尺余形水  
芹花ニ似テ白色細小実ハ  
竊衣ニ似テ糙澁ナリ根  
張きハ三四尺又ハ黄白色  
蘆頭ノ如ク枯葉ノ莖アリク  
葉ノ如ク故ニ葉防風ト名づく  
薬用上品ナリ

防風



一種

伊吹防風

和俗

ありきや中々元や  
 下後小金山野  
 中より葉ハ胡蘿  
 苗は似て小若草  
 二尺許小白花傘  
 状とち根黄白  
 色防風は似く  
 短一種白川山  
 ありて白川防風  
 折るのハ石防  
 風より又一種俗  
 ぶうすと嗽で  
 食料ももの  
 時珍云ころの珊  
 瑚菜なり



防風



獨活

漢種のハ葉初生三枝  
九葉長まれの葉一莖ふ  
つき大二三尺許深緑色よ  
して光澤あり幹さる五六  
尺粉紫色と帯ふ花ハ白  
色実ハ白並に似て大羽  
あり根の肉黄白色烈香  
あり味辛熱湯をわけて  
乾ハ服用一易







羌活

あしうど

信州及野州日光山  
 常州加波山南臺城  
 等不生す葉は食料  
 の總木の一種に似て  
 又多く光澤なく  
 莖綠色花白色根  
 皮黃褐色肉白  
 氣味猛烈なる故に  
 病人服すべからず  
 ぬるりのあつた湯で  
 かけ乾す





ろふたし



京の高雄山に産する高雄羌活と  
呼ぶ葉尖り毛茸あり節は紫色と  
花は白色根皮は紫色味辛く香  
あり換頭の説は今人以紫色と  
節疑首為羌活といふ是なり

羌活







土當歸

えかうど



江戸増上寺山中の  
 奥増上寺白並と呼ぶ  
 飛鳥山丁陰湿の地多  
 宿根より生ず五月花の  
 白色形獨治に似る莖  
 中空虚ゆして毛茸多  
 條理あり臭氣多この  
 集解にて考へては  
 本草原始は土當歸  
 深敷獨治但内白開之臭  
 氣薰人賣者假充獨治と  
 りん也



升麻 あきま  
ふふで 肥前 肥後

武州豊嶋郡野州  
日光山其餘諸國小  
生於葉八三枚九葉と  
硬く光澤鋸齒あり  
如く白葉と云ふは  
少くして六瓣あり根一  
年一塊と生ず皮青  
黒色肉青白色味



一種 大葉の物



俗小鬼臉升麻と  
呼ぶ一葉三葉其  
一葉甚大や七枚  
海棠よ似て鋸齒  
ありて鬼臉の如し  
葉中より葉を着け



一種  
細葉の物



武州飛鳥山下小多  
兼ハ川苔の如く穂小枝  
あり根ハ數塊連族して  
皮靑黒色肉靑綠色  
めて舶来の品と同一  
弘景説とろの雞骨  
升麻これなり

升麻





一種

さねんげ



武州御嶽野州日光山  
 等小わりの葉の前種  
 小似て莖頭より花と  
 開く形白蓮の如く  
 小て心小葉を  
 帯び花より小葉を  
 根のあら不升麻に似て  
 細長なり

信州草津山中せま生るものあり  
 葉の白根ありひ似て花の形あり  
 如く白葉あり根は蘆頭ありて長き  
 鬚あり

一種





一種

八丈嶋やま産まるハ  
葉小光澤つやあり白  
色いろうす七なな微ま美みを  
帯おぶ



一種

白花しろはなのころもあ

莖葉こゝろとも長大あり又一種  
花黄色はないろなるときの尾とよ





一種 あいのりさう

苗葉短く葉深緑色  
光澤あり花純白色あり



一種

そのあいのりさう  
葉の樺葉小似し枝多く花淡紅色細根根より赤  
毛のつく肉淡紅なりと升麻根と異なり以上四種  
を落新婦一名小升麻と云ふは穂ありて小  
升麻の一種ありて下品ありとのあいのりさうの  
類は升麻の属をあると遠し



升麻



苦參

くらく

和本名



下濕の地には生ずる。葉は槐の如く嫩苗  
紫色の帯を帯びて二三尺を達す。花は  
槐花に似たり。白色又淡紫色。色は  
のあり。後解と結ぶ。根角不似く  
細く根午房の如く。外皮黒色。肉淡  
美味甚苦。



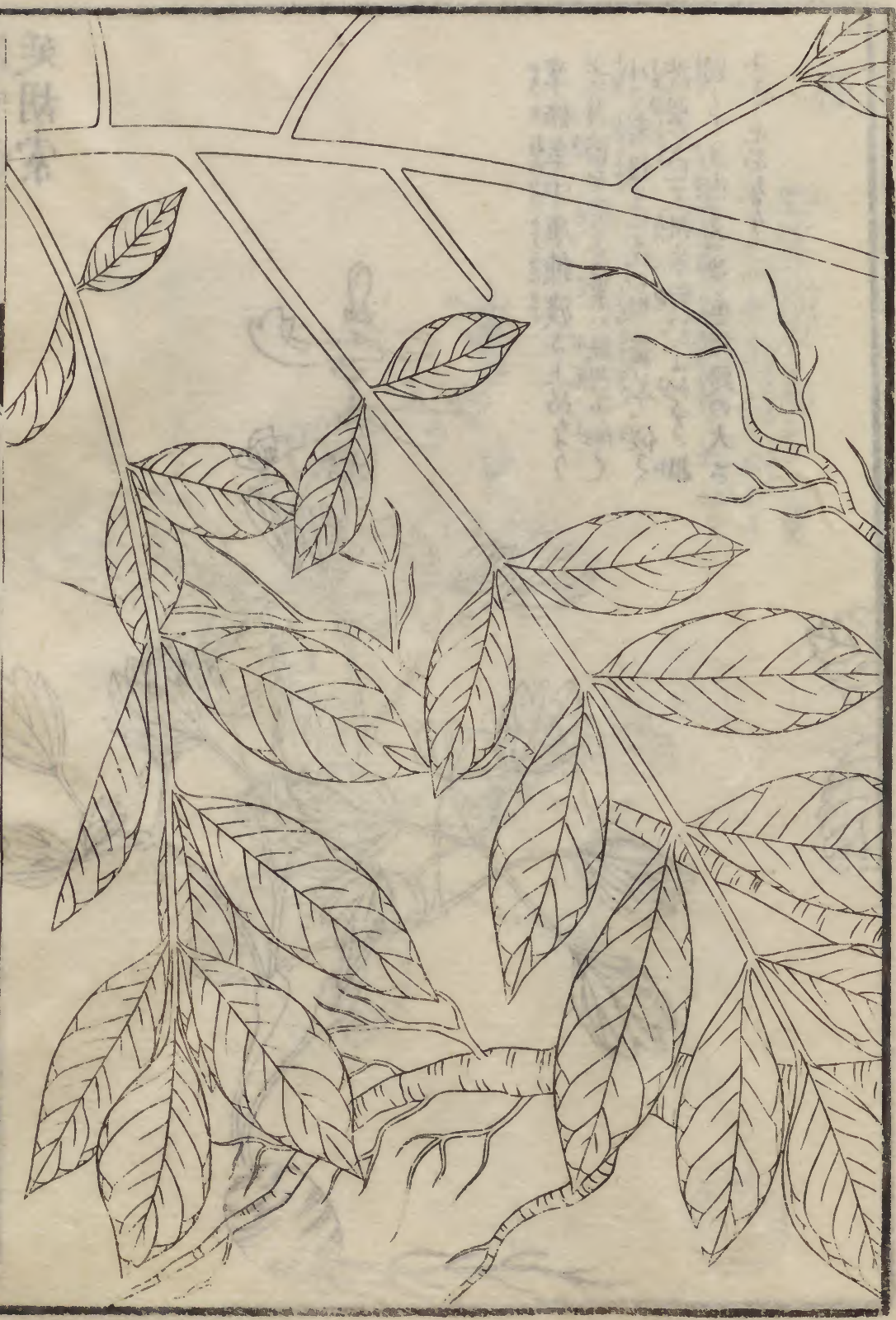


白鮮



漢種の物真物之宿根より生ずる葉は呉菜葉に似て小く竹葉椒に似て大なり花ハ萱草花に似て小く白色にして紫を帯びて五角ありて形八角茴香に似く大なり中々小果あり椒目の如く葉莖は山椒の香ひあり故に金雀兒椒と名づけ根白羊皮に似たり

白鮮





本草綱目 卷之七 延胡索

延胡索

享保年中唐種渡る上品なり  
正月苗を発せ葉ハ牡丹に似て  
小く嫩綠色の花の形黄芩に似  
淡紫色又桃朱に似たり根  
圓して皮肉を黄色指頭の大さ  
ふく上品なり



一種

肥後の熊本小産するハ三葉  
みで中央に紫色の斑あり  
花紫色根ハ唐種の物に似たり



本草綱目 卷之七 延胡索 七 延胡索 七 延胡索



一種

葉ハ牡丹葉の如く稍細く  
花淡紫色なるあり又  
漢種なるといふ



一種

尾州より来る葉極めて細  
長くと胡荽の根葉の  
如く花大ゆして青碧色  
嫩白色下品なり時珍の  
説は似竹葉様といふを  
なり

一種

江  
化ぶて

武州道灌山小産する葉の形  
竹葉に似て小く三枝四五葉を  
おのれ花淡紫色根白色ゆて  
半夏の如く疣あり下品あり又  
武州井の頭より長葉ゆて  
紫斑あり共小下品なり





貝母

和名



漢種二品あり正月生嫩葉ハ百合小似て梢葉ハ細く未蔓の如く花六瓣淡黄色実ハ八枚中て草薺実小似たり根の形文蛤の如く二片相合て圓く白色なり一種ハ花淡白小く根小子を多く生ず

一種



物印満の圖小花紅白相雜るゝのあり奇品なり

フリチルラリアキイヒツブルム蘭





一種 うむゆり

懸々山陰の多し葉を嫩の形小似て茎を抽く  
葉車輪の如く互生し上下花あり六瓣形百合  
花小似て長く淡綠色根ハ山丹に似て黄白色  
より換領の説は似蒼麥葉とのみ懸たり





山慈姑

あまふ

武州道灌山小産其外  
諸州亦有二月小葉成  
生ト中心一茎を抽ト一  
花を開ク六瓣白色外小  
紫の條あり根ハ慈姑ニ似  
て其小く黄白色なり

一種

潤葉中々中心白斑あり  
花もあまふより大めて  
内白色外淡紫色の筋  
あり



一種

葉ハ綿束兒ハ似て一葉  
一花との花小めて白く形壺の  
如一根三連珠をなす

一種 蝦夷松前小産其の  
花小枝ありて黄白色苗  
葉も小長大なり

一種 尾州より来り  
葉ハ粉緑色長さ  
三四寸一莖一花葉毛  
ありて大なり





一種 かさねの繭

武州大箕谷野州日光山等小あり南部名産なり正月一葉をゆくと多葉物なり花あり  
 六瓣淡紫色百合花に似て細く日光産ハ花深紫色根白色指頭の如く煮て菜とたり  
 乾く粉とちて藏器の説は葉似車前と云これなり



山慈姑



石蒜 ヒガンバナ



秋月葉をば水仙に似て瘠て硬く  
深緑色夏に至て枯秋ふらうて花  
のくせに六瓣赤色の花あつてもて  
傘状を多根ハ水仙の如く皮黒し  
白花のものを銀燈花也鱗といふ

一種 キサキのカタシ

一種  
白花の  
キサキの  
カタシ



春葉を生し四月に枯五六  
月花のくせに形萱草の如く  
小く淡赤色なり時珍説  
この鐵色箭これなり



本草綱目 卷之六 石蒜 三十四 蓮園閣藏

一種

江州志津原に産するハ苗瘠小なりて秋月花を生る形まろ桶のかまをりふ似て  
甚しく高さ三四寸花白色筒のすまろ実ハ莖不似て黒色なり



一種

ちろすのせん

二月葉を生る水仙より潤大四月ハ  
枯れ六月花を開く形まろ桶のかまをり  
似て大ニ淡紅色高さ三尺許根も  
又大なり



本草綱目 卷之六 石蒜 三十四 蓮園閣藏



本草綱目 卷之四 花部 蓮花

一種



和蘭物印滿の圖

ハエシキス蘭和

水仙

房州小多葉長きもの  
三四尺に及ぶ



玉玲瓏花

八重の水仙をうり  
房州よりも来る一辨おとよ  
黄色の短弁を雜也又淡緑  
色のもの稀あり

二種

知考寫

水仙

三三三 花月長



一種

物印忙の圖は水仙二種あり  
本邦小この品ありあをを商ひ



椿齊

岡田清福模寫

ナルシツシユス羅 ナルシツセニテイロース 和蘭

本草圖譜卷之七 終

